

## 2009（平成21）年度予算について

学 校 法 人 桃 山 学 院  
理 事 長 坪 井 清

2009（平成21）年度学校法人桃山学院の予算は、予算会議の議を経て、2009年3月24日（火）開催の理事会、評議員会で承認され成立いたしましたので、ここに予算の概要と予算書類の公開を以下のとおり行ないます。

### ■ 主 な 事 業 予 算 の 概 要

#### [ 周年記念事業の推進 ]

##### (1) 記念式典・イベント等の実施

2009年に学院創立125周年・大学開学50周年をむかえるにあたり、記念行事・イベントや記念式典の実施費、記念誌の編纂・刊行費用などを計上します。また、2008年度に引き続き記念事業寄付金の募集を行ないます。

#### [ 教学条件の整備・充実 ]

##### (1) 国際交流の推進

「世界の市民」の育成をめざし、国際交流のさらなる推進・充実のため、交換留学における受入・派遣留学生への支援強化、国際スポーツ交流の推進、日本留学フェアへの参加など国際交流充実のための諸取り組みを行います。

##### (2) 情報インフラ整備

2006年度に更新してレベルアップした学内情報ネットワークシステム（S A I N T I V）により、学内情報流通の一層の効率化をはかります。また、事務システムについても2008年度より継続して更新（オープン化）し事務の効率化につとめます。また、中学校や高等学校においても、教職員用パソコンやソフト等を更新し、より円滑な業務遂行をめざします。

##### (3) 聖ヨハネ館情報システム構築

学院創立125周年・大学開学50周年の記念館として和泉キャンパスに建設した聖ヨハネ館の供用開始にともない、学内LAN、AVシステム導入等情報システムの構築を行ないます。

##### (4) 中学校スチューデントサポート

2008年に開校した中学校の生徒のさらなる学力向上のため、Eラーニングによる自学自習教材を導入して、生徒のよりよい勉学環境づくりをサポートします。

## [ 学生生活支援の充実 ]

### (1) 就職支援

2007 年度に設置したキャリアセンターにおいて、1 年次生よりの適正検査実施や、各種セミナーおよび就職合宿の実施などを通して、職業意欲の高揚をはかるなど就職支援体制の強化充実をめざします。それに加え、教員・保護者対象説明会を実施することにより、キャリア教育の重要性や採用状況・就職活動についての理解や認識を深めてもらうことにつとめます。

### (2) ボランティア活動支援

これまでキリスト教センター内に設置していた「ボランティアビューロー」を、2009 年度より学生支援課（旧学生課）内に「ボランティア活動支援室」として発足させ、他の正課外活動支援との基本スタンスと歩調をあわせるとともに、ボランティア活動に対する一層の支援強化をはかります。

### (3) 障害学生支援

授業における外部ボランティアによるノートテイクや、ヘルパーによる介助など障害学生の就学面を支援します。

## [ スポーツ振興 ]

### (1) 特別スポーツ強化

社会から注目度の高い複数の「チームスポーツ（サッカー・アメリカンフットボール）」種目を、常に全国大会レベルで競技し得ることを目標に特別に強化し、その活躍を通して学生諸君の本学への帰属意識の向上をはかります。また広く社会に本学の活気ある姿をアピールします。

## [ 命の教育 ]

### (1) A E D 普及による「命の教育授業」への取り組み

昭和町キャンパスの中学校および高等学校において、A E D 装置を取り入れた「命の教育・心肺蘇生法の授業」を積極的に推進します。

## [ 地域づくりの推進 ]

### (1) 地域貢献・連携の強化

本学が南大阪を中心とした地域づくりに関して、「南大阪再生プロジェクト」や「地域学校教育支援」におけるボランティアやスポーツ等への学生を中心とする様々な活動を通して、地域貢献・連携の強化につとめます。

## [ 環境整備の促進 ]

### (1) 環境整備関連機器の充実

和泉キャンパスにおいて、省資源・省エネルギー、キャンパス内の環境保全のため、教室棟内にトイレ人感センサーや屋内用ゴミ箱を設置するなどして環境整備につとめます。

## [ 広報・入試対策の強化 ]

### (1) 戦略的広報

恒常的な広報費とは別に、入試戦略強化のための広報費、就職支援対策の強化のための企業向広報戦略費、大学の認知度およびイメージアップのための広報費、および2008 年度に開校した中学校における強化広報費などを計上します。また、ホームページを更新して、内容等をより充実したものとし、内外利用者

への一層の情報提供につとめます。

#### [ 財政基盤の強化 ]

##### (1) 特定資産の整備・拡充

財政基盤の強化のため、施設設備の維持再生資金である減価償却引当資産について、「期末減価償却累計額の少なくとも 50%以上は確保する」という理事会決定に基づき当該引当資産への繰入れを行ないます。

##### (2) 中期経営計画の策定

財政基盤の安定・強化にむけて、中長期的な視点にたつ設備投資計画などを盛り込んだ中期経営計画を策定します。

#### ■ 資金収支予算について

資金収支予算書は、予算編成を通して当該年度の諸活動に対応するすべての資金収入と資金支出の内容を明らかにするとともに、支払資金の顛末も明らかにする書類です。2008 年度補正後予算額との比較で示せば下表のとおりです。

資金収支予算比較総括表

(単位：百万円)

項 目	2009 年度予算額	2008 年度補正後予算額	増 減
前年度繰越支払資金	5,131	5,113	18
資 金 収 入	11,078	14,286	△3,208
資 金 支 出	10,743	14,268	△3,525
次年度繰越支払資金	5,466	5,131	335

<注> 端数処理（百万円未満を四捨五入）の関係で合計額が合致しないことがあります。

以上のように資金収入につきましては、合計で 32 億 800 万円減の 110 億 7,800 万を計上しました。この減収については、前年度に周年記念事業の一環として行った大学総合教育棟（聖ヨハネ館）や昭和町キャンパス第二体育館（ダビデ・ジム）の建設といった大規模な設備投資がほぼ一巡し、その資金的対応（積立金の計画的取り崩し）がなくなったことが主な要因です。

一方資金支出では、合計で 35 億 2,500 万円減の 107 億 4,300 万円を計上しました。この主な要因としては、既述の施設建設等大規模な設備投資の一巡にかかわる経費を含む施設関係等の支出減のほかに、次項の消費収支予算に記載しているように管理経費を中心とした経費の圧縮・削減があげられます。

その結果、次年度繰越支払資金は 3 億 3,500 万円増の 54 億 6,600 万円を見込んでいます。

#### ■ 消費収支予算について

消費収支予算書は、予算編成を通して当該年度の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態（経営状態）を表す書類です。2008 年度補正後予算額との比較を表で表せば以下ようになります。

消費収支予算比較総括表

(単位：百万円)

項目	2009年度予算額	2008年度補正後予算額	増減
帰属収入 ①	10,940	10,938	2
基本金組入額 ②	△224	△2,975	2,751
消費収入 ③ (①+②)	10,716	7,962	2,754
消費支出 ④	10,870	11,231	△361
当年度消費収支差額 ⑤ (③-④)	△153	△3,269	3,116
前年度繰越消費収支差額 ⑥	3,774	7,042	△3,268
翌年度繰越消費収支差額 ⑦ (⑤+⑥)	3,620	3,774	△154

＜注＞ 端数処理（百万円未満を四捨五入）の関係で合計額が合致しないことがあります。

以上のように帰属収入につきましては、200万円増の109億4,000万円を計上しました。これにつきましては、学生生徒等納付金収入増（中学校開校の2年目による進行増）、周年記念事業寄付金増、雑収入減（退職者数減による財団交付金減）などによるものです。

基本金組入額は27億5,100万円減の2億2,400万円を計上しました。その中身につきましては、既述の大規模な設備投資が一巡したため、図書や備品関係といった恒常的な資産取得のためのものです。

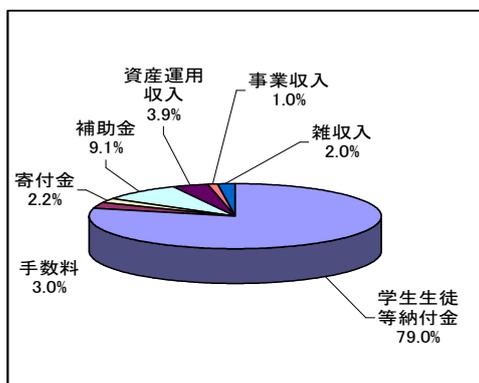
そこで、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入合計では、107億1,600万円の計上となり、27億5,400万円の増加となりました。

消費支出につきましては、周年記念事業費の計上や、大学の改組転換した国際教養学部や中学校開校の年次進行（いずれも2009年度で2年目）にともなう経費増はあるものの、これも既述の大規模な設備投資の一巡にともなう関連経費の減少のほか、教学条件に支障をきたさないことを前提に実施した広告費・委託費等を中心とした経費の圧縮・削減により、3億6,100万円の減少となり、合計で108億7,000万円の計上となりました。

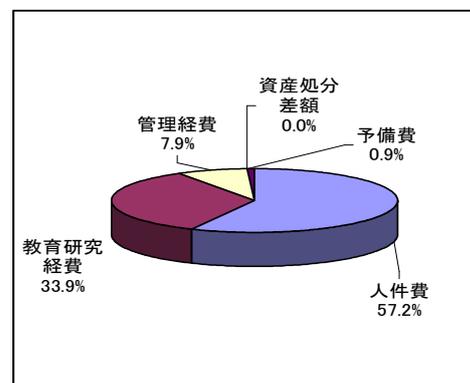
その結果、当年度消費支出超過額は31億1,600万円減少の1億5,300万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は36億2,000万円となる見込みです。

なお、消費収支予算における一般に「経常収支」といわれる帰属収入と消費支出の構成をグラフで表せば以下ようになります。

帰属収入の部合計 109億4,000万円



消費支出の部合計 108億7,000万円



◆2009(平成21)年度 資金収支予算書

◆2009(平成21)年度 消費収支予算書